施工説明書

洋風サイホン便器 防露便器 ヒーター防露便器
（床排水）

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	● この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ● 施工後は必ず試運転を行ってください。 ● お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠警告

水につけたり、水をかけないでください。
※ ショート・感電の恐れがあります。
（100V 電源使用の場合） 禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。（100V 電源使用の場合） 分解禁止

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※感電の原因になります。（100V 電源使用の場合） ぬれ手禁止

⚠注意

陶器は割れものです。
●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※ 破損部でケガをしたり、漏水により家財等をぬらす恐れがあります。 指示実行

バスルーム内など湿気の多い場所には、設置しないでください。
※感電･火災の原因となります。（100V 電源使用の場合） 水場使用禁止

交流 100V 以外では使用しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。
（100V 電源使用の場合） 禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。
（100V 電源使用の場合） 禁止

傷んだ電源プラグやコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。
（100V 電源使用の場合） 禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※ 感電･火災の原因になります。（100V 電源使用の場合） 指示実行

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水により家財等をぬらす恐れがあります。 指示実行

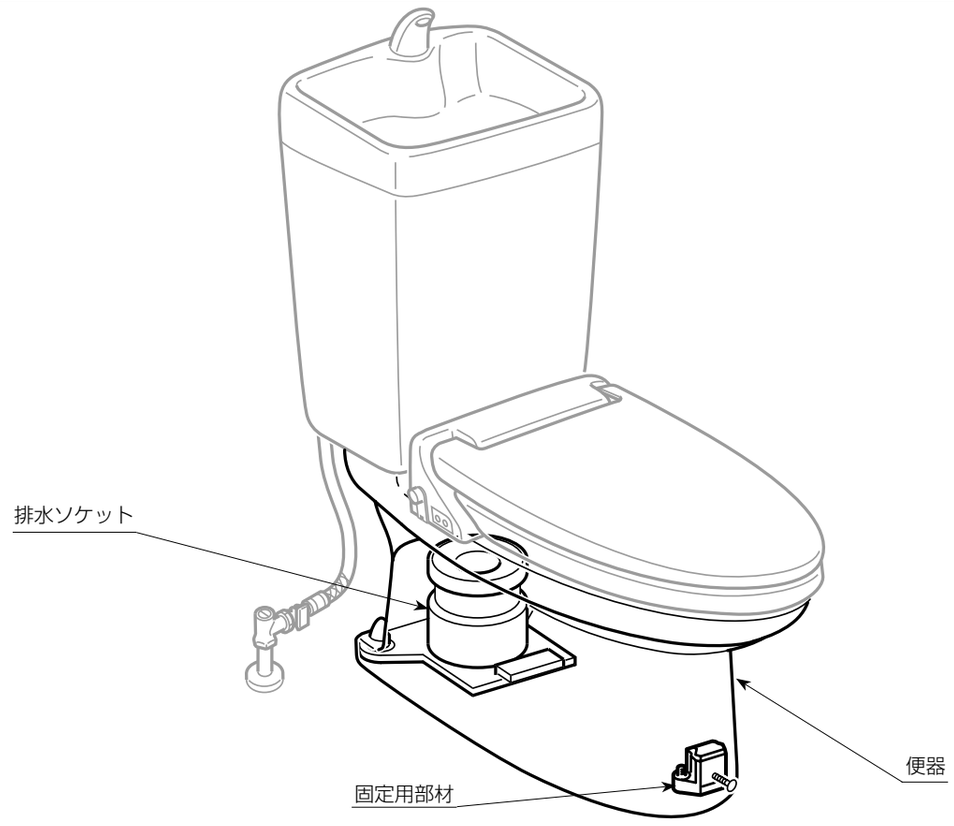
お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※ 凍結破損で漏水し、家財等を濡らす恐れがあります。 指示実行

電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
※ 感電･火災の原因になります。（100V 電源使用の場合） 指示実行

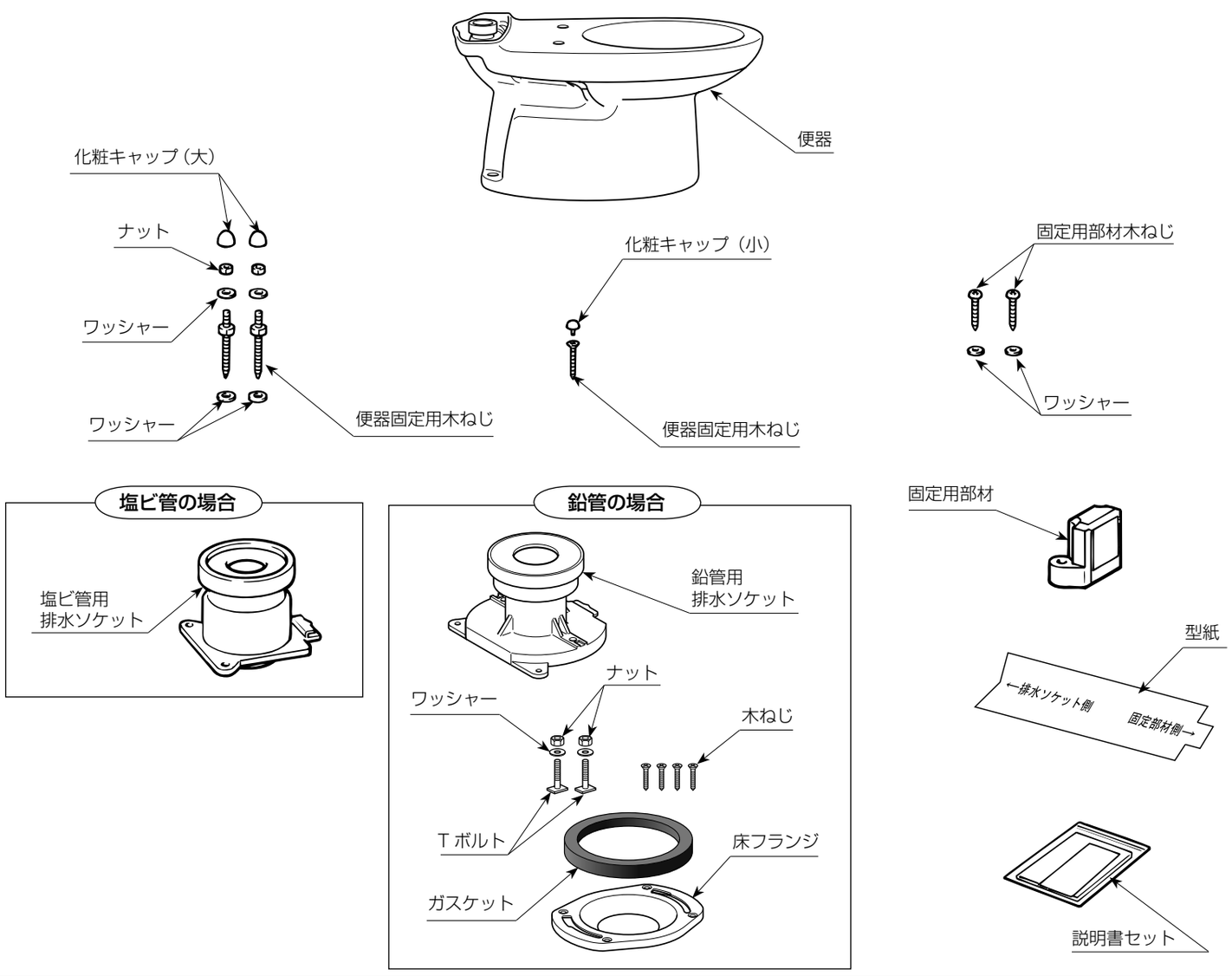
施工前の注意

●排水芯 120mm には、対応できません。

各部のなまえ



部品の確認（梱包内容を確認してください。）



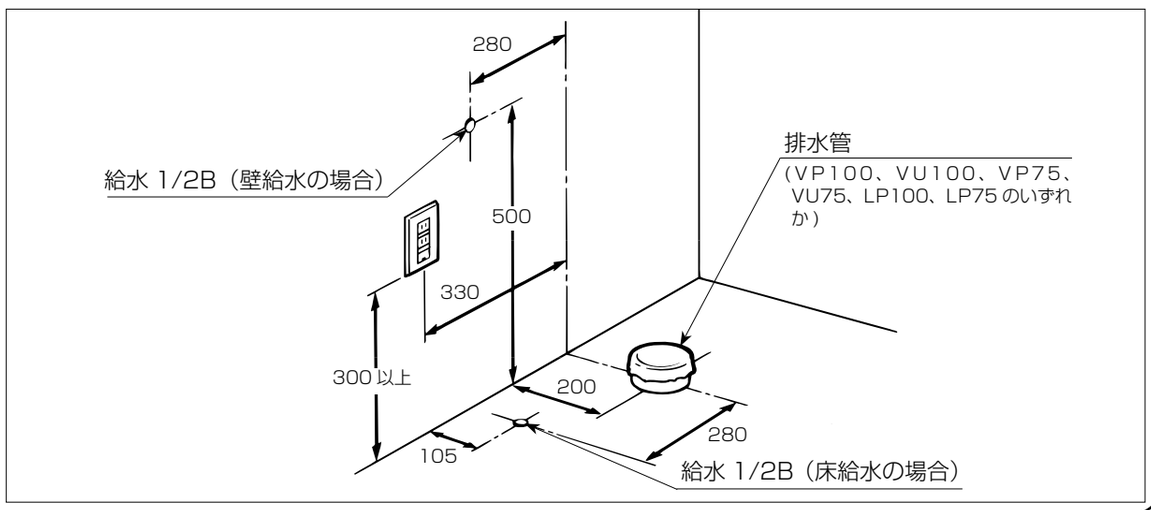
施工方法

1 給排水の位置決めと取出し

給水管、排水管を取り出します。

注意 1 参照　注意 2 参照

参考 1 参照



注意 1

便器を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ（LF-7T を推奨）、排水塩ビ管にはビニール袋等でカバーをしてください。

参考 1

標準の排水芯 200mm の他に 210mm の排水芯にも対応できます。
これらの排水芯を持つ、主要な便器は次の通りです。

● LIXIL
200mm アメージュシリーズ

● TOTO
200mm New CS シリーズ
210mm C725B, C713BH

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　ナビダイヤル　TEL 0570-017-173
受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

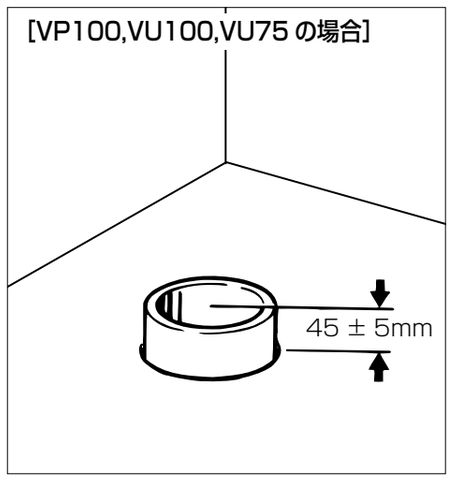
《塩ビ管の場合》

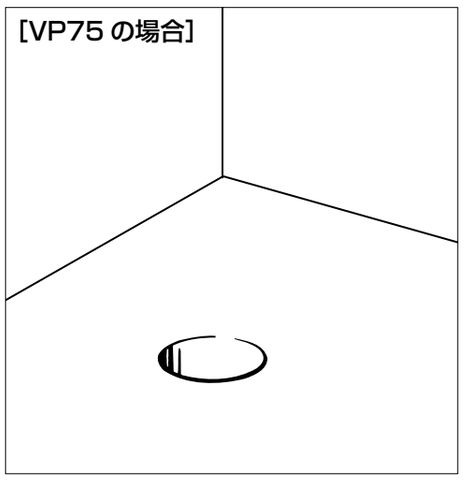
2 排水塩ビ管の切断

排水塩ビ管を床と平行に切断します。

VP100,VU100,VU75 の場合：床仕上げ面より高さ 45 ± 5mm
VP75 の場合：床仕上げ面

注意 3 参照　参考 2 参照



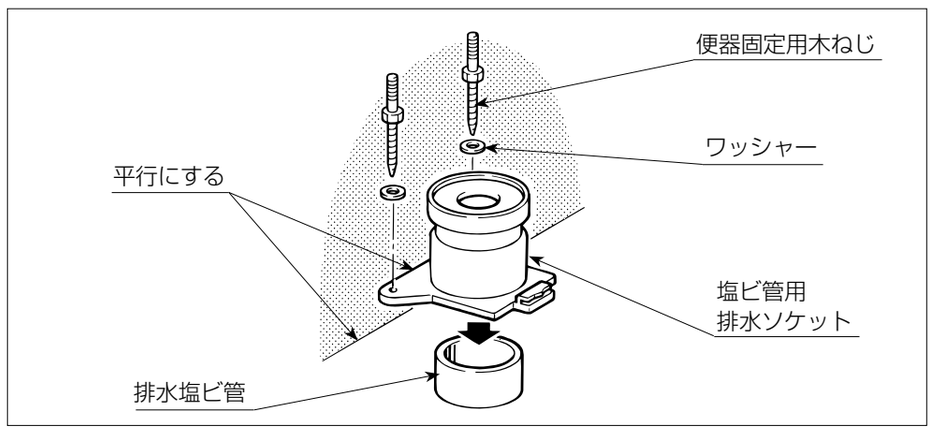


3 塩ビ管用排水ソケットの取付け

(1) 排水塩ビ管と排水ソケットの密着部をきれいにし、両方に塩ビ管用接着剤を塗って接着します。
排水管の種類によって**接着剤の塗布面が異なります。**図を参照してください。

注意 6 参照　参考 2 参照

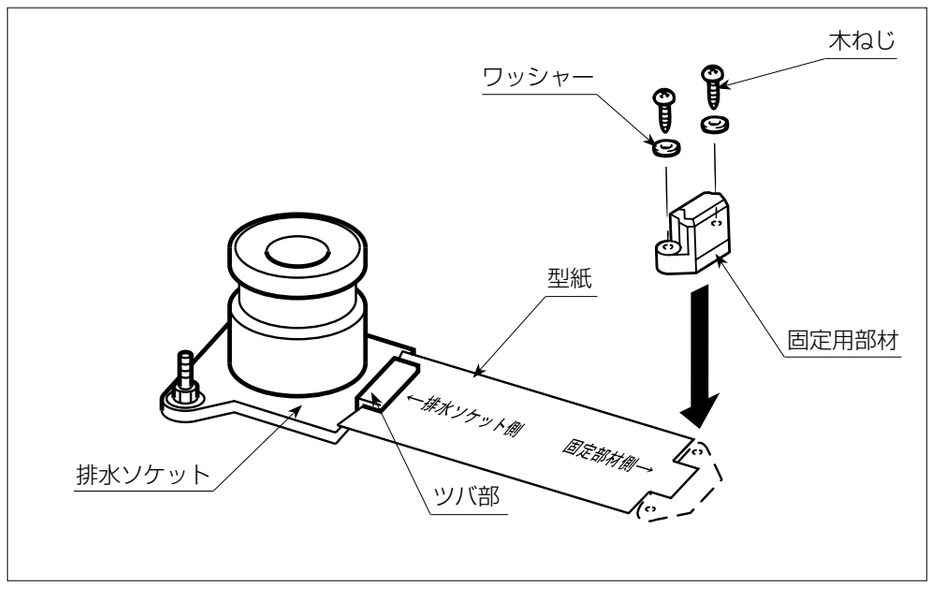
(2) 便器固定用木ねじで排水ソケットを床に固定します。
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径 11、深さ 55）をあけ、別売の AY ボルト (AY-86D) を使用します。



4 固定用部材の取付け

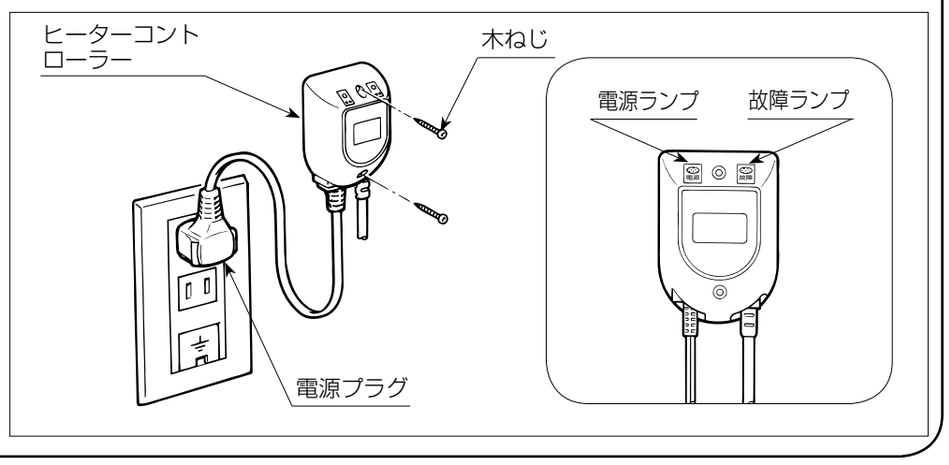
(1) 排水ソケットのツバ部に型紙を合わせ、固定用部材の位置決めをします。
(2) 固定用部材を木ねじで固定します。
AY ボルト仕様 (床がタイルやコンクリート) の場合、下穴（径 11、深さ 55）をあけ、同梱の AY ボルト (AY-23W) を使用します。
(3) 型紙を必ず取り除きます。

参考 3 参照



6 ヒーターコントローラーの取付け（ヒーター付便器の場合）

(1) 電源コードの長さを考慮してヒーターコントローラーの取付位置を決め、木ねじにて固定します。
(2) 電源プラグをコンセント（交流 100V）に差し込み、電源ランプが点灯 (オレンジ色)、故障ランプ (赤色) が消灯していることを確認します。



《鉛管の場合》

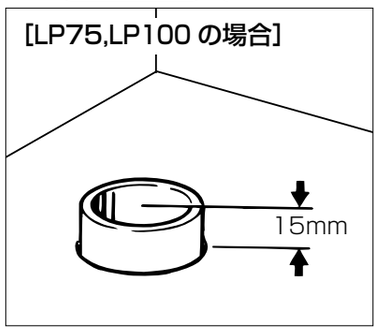
2 排水鉛管の切断と床フランジの取付け

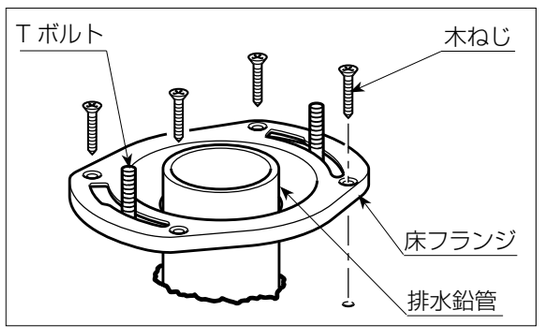
(1) 排水鉛管を床と平行に切断します。

LP75,LP100 の場合：床仕上げ面より高さ 15mm　注意 3 参照

(2) 床フランジのテーパー部が床の中に入るように排水鉛管周囲をはつります。
(3) 床フランジに T ボルトを組み込み、木ねじで床面に固定します。
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径 7.5、深さ 55）をあけ、別売の AY ボルト（AY-2）を使用します。
(4) 排水鉛管の切口を床フランジのテーパー面に沿って広げ、はんだ付けします。
はんだ付けを省略する場合は、切口を床フランジ上面に広げます。

注意 4 参照　注意 5 参照



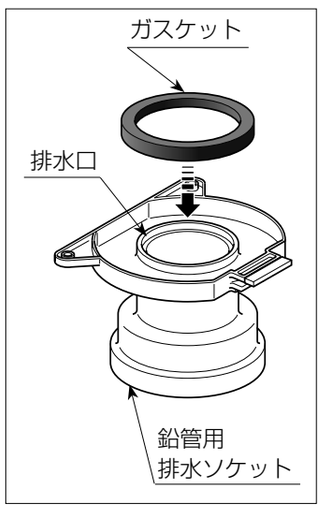


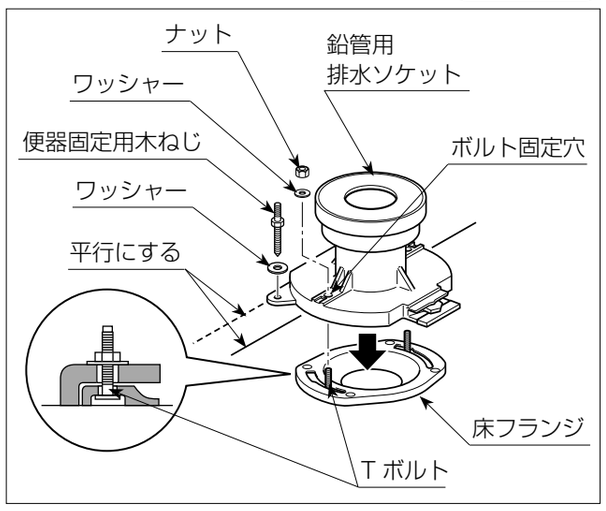
3 鉛管用排水ソケットの取付け

(1) 排水ソケットの排水口にガスケットを取り付けます。　注意 7 参照

(2)T ボルトを排水ソケットのボルト固定穴に挿入します。
(3) ナットにて床フランジに排水ソケットを取り付けます。
(4) 便器固定用木ねじで排水ソケットを床に固定します。
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴（径 11、深さ 55）をあけ、別売の AY ボルト (AY-86D) を使用します。

注意 8 参照

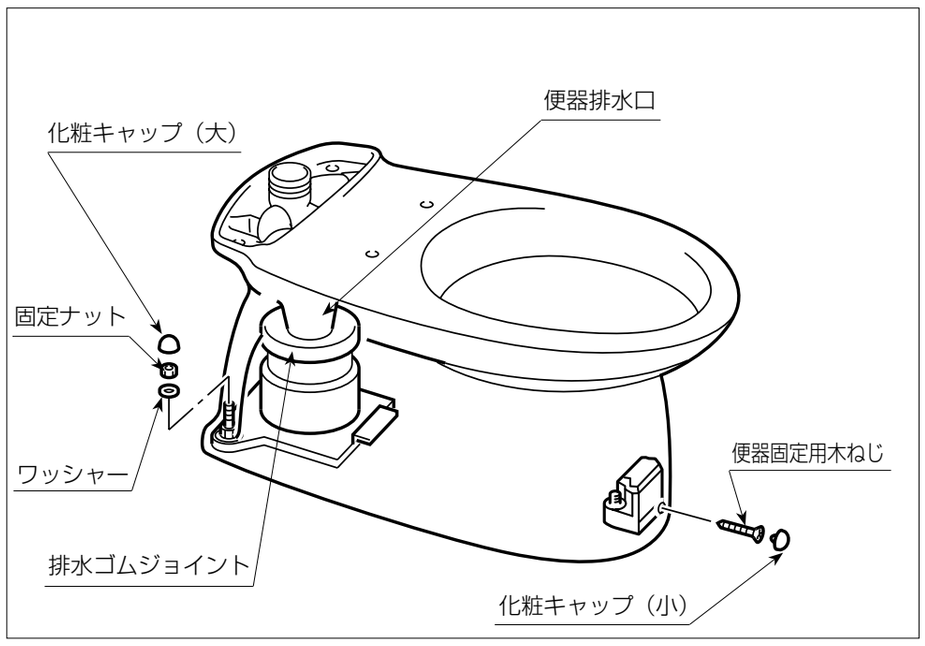




5 便器の取付け

(1) 便器の排水口を排水ソケットの排水ゴムジョイントに差し込み、固定ナットにて便器を固定し、化粧キャップ（大）を取り付けます。
(2) 便器前方から便器固定用木ねじにより固定し、化粧キャップ（小）を取り付けます。

注意 9 参照



注 意 2

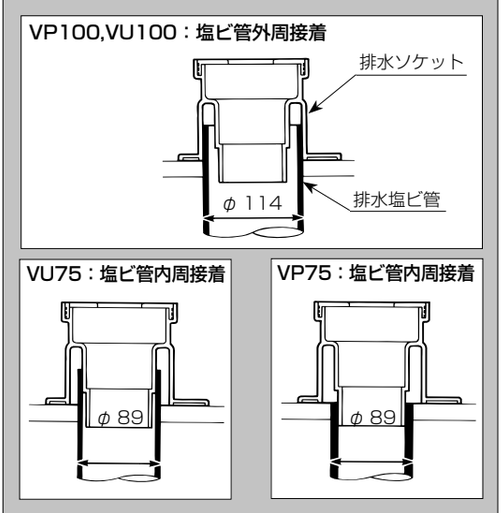
排水芯 200mm の床排水便器から取替の場合は CF-200AD を手配し、施工説明書にしたがって既存ソケットを取り外してください。
ただし、排水管が VP75 の場合は、CF-200AD は不要です。

注 意 3

排水管は、切断面が床と平行になるように切断してください。
※ 切断位置が正確でないと漏水、臭気発生の原因になります。

参 考 2

排水塩ビ管と排水ソケットの接続は、以下のようになります。



注 意 4

床フランジの取付けは、必ず仕上げ面上で行ってください。

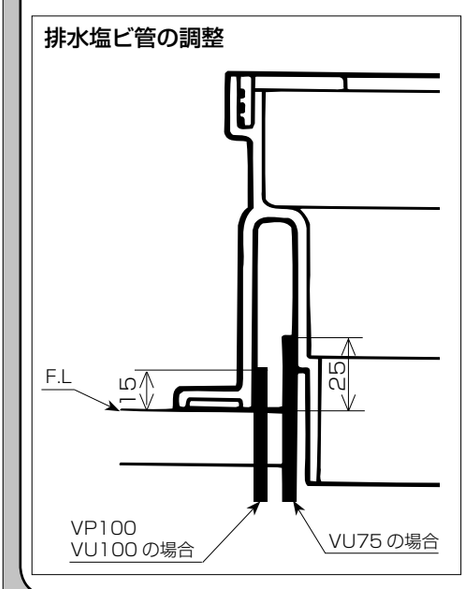
注 意 5

床フランジのテーパー面に沿って排水鉛管を確実に拡げてください。
※拡げ方が不十分ですと、排水鉛管と排水ソケットが干渉する恐れがあります。

注 意 6

排水塩ビ管と排水ソケットの接着は、確実に行ってください。
- **すき間、ガタがある場合は、コーキング剤を使用してシール接着してください。**
- **はまらない場合は、下図のように排水塩ビ管の取出し高さを VU75 の場合は 25mm、VP/VU100 の場合は 15mm に変更してください。**

※ 接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。
※ VP75 の場合は、排水塩ビ管の取出し高さの調整はできません。



注 意 7

- **排水口周囲の汚れ、湿気を十分に取り除いてください。**
- **ガスケットは、排水ソケットの底面および排水口側面にしっかり密着させてください。**

注 意 8

床と排水ソケットのすき間がないようにナットを締め付け、接着を行ってください。
※接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。

参 考 3

排水ソケットのツバ部に穴があいているものもありますが、施工には使用しません。

注 意 9

陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。